

市民説明会でのご質問一覧

※同様な趣旨のご質問については、一つに集約させていただいています。

※説明会の際のアンケートで寄せられた質問についても、あわせて記載させていただいています。

【公共施設マネジメントに関するもの】

No.	質問等	市の回答
1	学校の統廃合については、地域の人口減少をどのように考えるのかという点もあると思うが、各地域に配慮して検討してほしい。	児童生徒数が増加している学校もあれば、減少している学校もあります。それぞれの地域における子どもたちの増減の傾向を見ながら、必要な規模の学校整備が必要だと考えています。 また、学校は地域コミュニティと密接に関係があるので、地域住民の考えや意見を踏まえて進めていきたいと考えています。
2	学校施設の統合という内容があったが、全国的にも不登校の子どもが増えていると聞いた。あすなろ教室をもっと増やしたほうがよいのではないか。	教育支援センター「あすなろ」は不登校支援に関して中心的な役割を持っており、通う子どもたちも年々増加しています。 「あすなろ」は特別支援学校内に設置していましたが、特別支援学校の児童生徒も増加していることから、ふじみ野小学校へ移転しました。場所が変わりアクセスが良くなったことで、通う子どもたちも増えています。 また、「あすなろ」と同じ機能で支援を行う「出張あすなろ」を公民館や交流センターで開催し、年間を通して活動しています。 そのほか、学校内にあすなろの機能を設け、不登校の子どもが学べる教室を各学校に設置しています。来年度に向けても、学校内の相談支援員の増員を検討するなど不登校対策として複数の手段を考えています。
3	今後、学校施設を統合しても、学校内の「あすなろ」の機能は持ち続けるということか。	学校の統合に関して現時点で定まっていることはありませんが、それぞれの学校の中に不登校児童生徒の支援を行う手立ては持ち続けます。

4	集会所の在り方の検討については、地域の連携を図る上では有効な施設であると考えてるので、町会の意見を聞きながら検討を進めてほしい。	集会所の老朽化が顕著なところについては、町会長からの要望もあり、修繕などを進めています。しかし、人口減少が見込まれる中、公共施設マネジメントは避けて通ることができないため、市民や施設利用者とコミュニケーションを取りながら検討を進め、判断していきたいと考えています。
5	集会所は無くなるととても困る。行政の一番小さな単位は町会ではないかと思っているので、集会所は無くさないことを検討の基本としてお願いしたい。	現在の集会所をしっかりと維持してほしいという意見だと受け止めました。集会所については、今後の町会の在り方や町会活動の方法なども含め、大きな観点から議論が必要ではないかと考えています。地域の実情などの違いはあるかと思いますが、町会の役割を維持できるよう、新たなものを加えることも必要かもしれないと考えています。公共施設マネジメントの位置付けとして、議論の大きなところであるため、しっかりと検討していきます。
6	出張所の在り方を検討するとあるが、出張所での収納業務の取止めなどの話もあり、全ての出張所を無くす考えなのか。	まず、出張所の収納業務については、これまで拡充してきた納税方法の利用者の増加や現金を扱うリスクを減らすことなどから、出張所における納税を取止めることとしました。今回示した再編プランを検討する中で、出張所の在り方を考えていくこととしており、一足飛びに全ての出張所を閉鎖することは考えていません。
7	DX 推進が進み出張所の必要性について考えなければならぬことは理解するが、全ての市民がデジタル技術を十分に使いこなせるわけではない。市民の意見を十分に聞いて事業を進めてほしい。	自宅からパソコンなどを使い申請することができる手続きの種類を増やし、行かない市役所を目指していくことをDX推進の大きな柱としています。出張所の在り方についてはこうしたものを踏まえるとともに、コミュニケーションを取りながら検討を進め、判断していきたいと考えています。
8	西出張所が5年ほど前に閉鎖してから、再開に関する話がないが、現在はどういった状況なのか。	耐震強度の問題が解決していないため、現在、西出張所を再開するという考えはないので、ご理解ください。

9	西出張所を再開しないのであれば、コンビニエンスストアで手続き可能な範囲を増やしてほしい。また、テレビ会議システムなどで相談できる窓口を出先施設に設けた方がよいと考える。	コンビニ交付が可能な証明書等については、今後、拡充を考えています。様々なDXの活用などを通じて、市役所に行かない、出張所にも行かなくてもよいような状況を作っていきたいと考えています。公共施設マネジメントは避けて通れないため、理解と納得を得られるよう、今後も説明責任を果たし、サービスの拡充を進めていきます。
10	第5保育所は建物も土地も借りていると思うので、老朽化で建替えなければならないということは理解するが、なぜ第3保育所と第5保育所を統合しなければならないのか。	第3保育所と第5保育所は施設の老朽化が進んでおり、子どもたちはそこで生活をしているので、1日も早く整備するため統合することとしました。単純に統合するだけでなく、基幹型保育所として、市内の子育て関連施設との連携推進など、公立保育所としての機能強化を図っていくことを目指しています。 また、障がいのある子どもたちは、ここ数年は増加傾向にあるため、この状況にしっかりと向き合える体制を新保育所の中に持たせたいと考えています。
11	統合する保育所で受け入れるという医療的ケア児に関して、医療的ケア児のいる家庭では、家族で子どもの世話をしていることが多いが、通常の保育所と同様に対応してもらえて、保護者は就労までたどり着くことができるのか。	統合する保育所は基幹型保育施設としての機能を持つようにしたいと考えています。民間保育所でも、障がいや発達障がいのある子を受け入れています。市ではその受け皿を増やしていきたいと考えています。また、市ではみずほ学園などの専門的な知見を持った機能を持っているので、こうした機能と知見を併せ持ちながら、統合する保育所で医療的ケア児をしっかり見ていきたいと考えています。
12	第3保育所と第5保育所の統合に際し、第3保育所に預けている保護者は諏訪小学校まで行くことが大変になるので、送迎サービスがあってもよいのではないか。	保育所の統合により家との距離が遠くなるということとは理解しますが、場所にかかわらず、公立保育所では子どもたちの送迎を行う考えを持っていないのでご理解ください。

13	<p>経済と運営という点で、必ずしも民間委託がよいとは限らないと思うが、保育や教育に関わる部分で、段階的な民間移行に関する考えを持っているのか。</p>	<p>待機児童の解消に向けては民間事業者による協力が必要と考え、大きな方針として設定しています。民間に任せるところは任せ、公としての役割を果たすべき点については、新たな施設で請け負っていきたいと考えています。</p> <p>現状では人口は増加傾向にあり、子育て世代が富士見市を選んでくれていますので、待機児童ゼロを目指しながら、保育需要を充実させるというのが現在のスタンスであるご理解ください。</p>
14	<p>第2保育所について、民間活力という説明があったが、公立保育所が公的な責任をしっかりと果たすことも一つの役割だと思う。市が本来果たすべき役割や責任という観点も必要だと思う。考え方を説明してほしい。</p>	<p>待機児童解消のために、現在、がんばっている既存事業者が、今後も手助けをしてくれるであろうという見通しを持っています。こうした民間事業者は、これまでも長く富士見市で保育事業を展開してきているため、市と事業者との信頼関係も高いものがあります。民間事業者に任せることのできるエリアや地域については民間活力に頼りたいと思っていますが、富士見市の持つ保育所としての役割はしっかりと果たしていきます。基幹型保育施設を作ることで更に富士見市の保育を充実していけると考えています。</p>
15	<p>保育所について民間活力を利用することはよいことだと思うが、公立保育所は民間事業者のブレーキとしての役割を持っていると考えており、民間委託はやりすぎないよう配慮してほしい。</p>	<p>過去に民間保育施設で保育士の欠員が生じたことから、公立保育所で緊急に対応することがありました。公立保育所では今後も同様のことが起こる可能性があることも視野に入れ、支援を行っていきたいと考えています。</p>
16	<p>保育所の民間委託を行った際、現在公立保育所で働いている職員の雇用は保証されるのか。</p>	<p>公立保育所で働いている保育士には、保育士としての仕事を今後も続けてほしいと思っていますが、子どもたちの数も減少していくことから、例えば保育事務などの仕事を行ってもらうなど、市としては雇用を継続していきたいと考えています。</p>
17	<p>老人福祉センターは建設してから50年ほど経ち、雨漏りなどがひどくなっている。庁舎にもお金がかかると思うが、こちらについても対応をお願いしたい。</p>	<p>老朽化が顕著になっている状況を疎かにできないことから、市民の皆さんと在り方を議論していきたいと考えています。多くの方が利用している施設をどうするのか、早急に結論を出さなければならないと考えていますが、現在は結論を持っていないため、令和8年度にしっかりと形作っていきたいと考えています。</p>

【新庁舎整備に関するもの】

No.	質問等	市の回答
1	ピロティ部分などの1階は、夜間にダンス練習やスケートボードなどで子どもたちが集まる遊び場になることが想定できるが、注意・抑制するために考えていることはあるか。	夜間や閉庁時の庁舎の使い方のルールは今後作っていきますが、過剰に禁止することなく、使い方を守ってもらえるようにしたいと考えています。スケートボードについては、産業団地に設置を計画している調節池を平時はスケートボードができる場所とする構想をもっており、そちらで遊んでもらう考えています。
2	富士見市文化芸術振興条例が制定されていることは、市の一つの特徴であり、基本計画の方針における「富士見市らしさ」と考える。文化芸術に触れることのできる空間は新庁舎の中に計画しているのか。	1階の「みんなのリビング」などは、文化芸術作品の展示場所として、また、1階大階段の一部を客席のように使うことでコンサートなどの表現の場として、文化芸術に親しむことのできる場所として使えるものと考えています。
3	休日は市役所を開放するということが。また、営業時間についてはどのように考えているのか。	夜間などの閉庁時間や閉庁日に、大会議室など1階スペースを市民利用ができるようにしたいと考えており、検討を進めています。
4	イメージ映像には、窓口の番号表示等を行うモニターが見当たらなかった。今後の検討で設置をしてほしいと思うが、今後市民に対する説明会は予定しているか。	呼び出し番号の表示されるモニターについては、今回のイメージ映像には示されていませんが、現庁舎に設置されている数以上の設置を行い、市民の方が窓口に行きやすいような環境を整備していく予定です。来年度は実施設計を予定しており、設計の詳細が詰まっていく段階となります。説明会は予定していませんが、進捗については、何らかの形で情報発信を行っていきます。
5	市役所には極力行かず、用件があってもスマートフォンや出張所で済ませたい。少しでも新庁舎の費用を安くし、その分を他の費用に使ってほしい。	行かない市役所に関しては、需要も高いため、コンビニ交付や電子申請の項目など拡充していきたいと考えています。

6	<p>新庁舎の規模を見ると、普通はエスカレーターが設置されるものだと思うが、シースルーエレベーターと大階段のみで建物の縦動線は問題ないのか。</p>	<p>エレベーターに関してはシースルーエレベーターのほか、ふーどルームの付近に1基、関係者用エレベーター1基、合計3基設置する予定です。災害時は関係者用エレベーターを避難のため開放する計画としています。また、各エレベーターの横に階段も設置しており、緊急避難時も想定し、現在の数を設定しています。</p> <p>また、エスカレーターについても検討は行いましたが、1階から2階へ上がるエスカレーターを設置するのみでもコストが非常に高く、維持費も高額ということがわかり、新庁舎建設時には採用しないこととしました。</p>
7	<p>概算事業費の項目に「ネットワーク整備費」という費目があったが、これは何に使う費用なのか。</p>	<p>市役所は様々な情報システムを持っており、これらを繋ぐネットワークを整備する費用です。計画段階では一概に費用の算出が難しかったのですが、今回、基本設計を実施する中で概算事業費を算出することができたことから、費用を計上したものです。</p>
8	<p>概算事業費が158億円まで上昇しており、更に金額が増えるという説明があった。そのような整備事業を、今後進めていった方がいいのか。見直してはどうかということも、今後、市と市民の間で十分なやり取りが必要なのではないのか。</p>	<p>これまで急激に物価が上がってきた状況を踏まえ、今後の上昇などを見込み183億円という数字を示しました。このような金額も覚悟するというので、今回説明を行いました。物価高騰とも睨み合いになりますが、しっかりとシミュレーションを行いながら、基金の積み増しや補助金等により財源確保に努めていきます。</p> <p>市としてやるべき仕事を、しっかりと積み重ねて今日までやってきました。今後も同様に積み重ね、財源の確保や国への要望に関しても行っていきます。</p>

9	<p>数年前にこの事業の話聞いてから、時が経つにつれて、事業費が上昇しているが、新庁舎にどこまでお金をかけて建設する必要があるのか。必要なのは、行政としての機能や業務であり、それらを充実させる必要があるのではないか。</p>	<p>物価高騰等が現在の状況を招いており、事業費の上昇については理解していますが、現庁舎のままとはいきません。庁舎は、市民の命や財産を守るためのものでもあり、多くの職員が働き、毎日多くの市民が来庁している中で、新庁舎建設は必要であると考え、計画を進めています。今後も財源の拡充を行い、基本的には現金をしっかりと積み上げるなどの努力を行い、国や県の補助金を利用し、コスト削減も引き続き検討を行いながら、新庁舎整備事業を前に進めていきたいと考えています。</p>
10	<p>基本方針において概算費用を算出した際は、どのようなデザインの庁舎を考えていたのか。現在に至るまでにどのような変更を行ってきたのか説明を聞きたい。</p>	<p>庁舎整備に関する基本方針を定めた際に算出した概算建設工事費の「約70億円」という金額は、国の基準等を参考に算定した新庁舎の面積に対して、当時の単価を掛けた数字であるため、この時点での設計イメージというものは存在しません。また、基本計画における新庁舎の面積は12,200㎡としていましたが、現在の設計延床面積はピロティを除き約11,000㎡であるため、面積は小さくなっています。現在、示している設計イメージに関しては、令和6年11月にプロポーザルをもって設計事業者を選定した際、事業者から提案を受けたものをベースに検討を進めたものです。</p>
11	<p>物価高騰と人件費の高騰などにより、庁舎建設を断念した事例があるが、現在の158億円もの事業費を必要とする庁舎は、市の身の丈に合ったものなのか。</p>	<p>事業費の課題については精査を加えながら、国の財政基準指標などの内側で収めていきたいという努力は継続して行っています。実施設計以降においても、この考え方を持ち続けていきます。また、本市は他自治体と比較しても人口が増加しており、現状は税収が増える要素があります。事業費の縮減を図りながらも、今回のような大きな投資については自主財源や基金を貯蓄しながら、しっかりと遂行していきたいと考えています。</p>

12	<p>将来の人口減少などに見合った建物として、もう少しコンパクトな建物とし、経費を抑えるような設計にできないのか。</p>	<p>市としても同様の想いを持ち、これまでの経過の中でも事業者選定当初に設計会社が提案したプレゼンテーションのモデルからの規模縮減、工法の削減などのコスト縮減を行っています。外装で柱が外に出ていますが、これも設計段階でコストを縮減できないかということで変更したものです。当初案は建物の中に、こうした柱を建物内に入れるものでしたが、これを外に出すことで節約・縮減するというので提案を受けたので、これを採用しました。</p> <p>現在、示している事業費については変動が見込まれるため、ご心配をかけてしまっていますが、今後も縮減の努力や財源確保の工夫を進めていきます。</p> <p>なお、動画イメージでは広々とした庁舎に見えますが、実際にはぎっしりと職員が執務を行うことになり、デスクサイズも縮小を図り、職員一人一人の占有できるスペースはかなり小さくし、コンパクトで効率的な庁舎としました。</p>
13	<p>新庁舎については、太陽光パネルや高効率な空調、LED照明など、新しいエコシステムが導入されると聞いた。現段階で庁舎のランニングコストの見積もりがあれば教えてほしい。</p>	<p>現在はどのような設備を導入するかを決める検討段階であり、詳細は今後検討を進めていくことから、ランニングコストに関する具体的な説明は難しい状況です。基本的には ZEB ready を目指し、燃料効率を高めるという理念で、今後も検討を進めていきます。</p> <p>現庁舎との比較については、現段階の話にはなりますが新庁舎のほうが床面積が大きくなることから、高効率の設備を入れたとしても、ランニングコストが上昇する可能性はあります。</p> <p>機器を選定する際は、インシヤルコストやランニングコストを踏まえ、詳細な品目の選定に努めたいと考えています。</p>

14	158 億円という大きなお金を、どのぐらいの期間で用立て、毎年どう償還していくのかということについて、説明を聞きたい。	<p>事業を進める数年間に、毎年基金の積立てを行っています。現在の基金残高は 20 数億円になりますが、今後も基金の積増しを行い、予算に余剰等ができれば、1億円でも 5,000 万円でも積立てを行いたいと考えています。財源としては、地方債や、国や県による補助金もあります。地方債については、国や県からも借り入れ可能なものがあり、一番金利の低い、良好な借入先を選択したいと考えています。</p> <p>また、国や県の補助金について、防災関係や環境配慮の設備への補助金など、部分的に活用できる補助金はしっかり受け取れるようにしたいと考えています。</p> <p>積立てについては、これまでも年間5億円、また余剰が出た場合に積増しをする年度がありました。この5億円を庁舎建設後の地方債の1年間の返済に充てるという考えも返済ができる体力があると考えられる一つの証になるものと考えています。</p>
15	一般財源が 14 億円とあるが、これはどのように支出されるのか。	<p>一般財源として示した約 14 億円については、単年度での支出ではなく、年度ごとに予算取りを行う中での支出となります。</p>
16	新庁舎整備事業について、国や県からの補助金は受け取ることができないのか。	<p>ZEB ready を達成することによる国から補助金がありますが、金額はさほど大きく見込めない状況です。防災設備に対する補助金など、国からの補助金等は有効に活用していきたいですが、庁舎全体を対象とする有利な地方債や大規模な補助金は無いのが現状です。</p> <p>今後も有利な財源の確認や補助金の要望活動も行っていきたいと考えています。</p>

17	<p>気になったのは財源であり、本当に大丈夫なのか。想像以上に事業費が上がってしまうことがあった場合、市の予算が削られ、市民サービスが削られてしまうということが起こってしまわないのか。支えるお金について説明してほしい。</p>	<p>物価高騰が継続した際は、積立金を更に積み増すほか、地方債をもって対応することで財源を確保できるようにしていくことを考えていますが、新庁舎整備の財政負担が要因で市民サービスの水準を低下させることはあってはならないと考えています。</p> <p>国が示す財政基準指標の中に地方債にかかる指標があり、本市は基準内の数値をキープしています。庁舎に関する地方債により、一時的に数値は上がると思いますが、国の指標の内側で収めていきます。</p> <p>また、市としても健全な財政運営に関する条例を持っています。条例をもとに、毎年、財政運営判断指標を決算議会の際に示し、議会や市民に公開しています。こうしたことを踏まえしっかりと財政運営を行っていきます。</p>
18	<p>多額の事業費がかかり、財源として地方債を多く使う計画なので、負担を後に残さない工夫をしてほしい。</p>	<p>しっかりと自主財源の確保を行い、工業団地の整備などによって税収を上げていく努力を行い、様々な補助金のほか、緊急防災・減災事業債などを一部充当し、地方債による負担を縮減するなど、自主努力を重ねていきます。</p>
19	<p>新庁舎では再生可能エネルギーを活用するとのことだが、考え方を確認したい。</p>	<p>環境に配慮し、省エネにより年間の一次エネルギー消費量を50%削減する「ZEB ready」を目指すという計画になっています。再生可能エネルギーについては太陽光パネルの設置を行い、非常時・通常時のどちらにおいても発電した電気を活用する計画になっています。</p>
20	<p>雨水を利用し水道水を節約するような検討は行っているのか。</p>	<p>検討の結果、雨水の利用は計画していませんが、井水を空調に活用します。</p>

21	<p>新庁舎の建設工事について、工事車両や工事要員の動線があると思うが、その計画や工事に伴う交通の混雑状況の予測はあるか。</p>	<p>令和8年度から現庁舎と文化の杜公園の間の水路の付替え工事を行い、敷地を南側に拡張する工事を開始するため、養生囲いを設け、文化の杜公園の中の方まで立ち入りを制限したいと考えています。この養生囲いは新庁舎の竣工まで取れることはないので、令和12年までこうした環境が続くこととなります。</p> <p>工事車両動線は、基本的には、市役所の横側からららぽーと富士見に出る交差点を主要な搬入道路として使う予定です。</p> <p>詳細な動線や現場事務所の確保などについては、基本設計の完成後、令和8年度に実施する実施設計で詳細な段取りを進めていきます。特に交通については周辺が混雑するため、いち早く案内できるようにしたいと考えています。</p>
22	<p>災害の指揮拠点として新庁舎を使うという計画が示されたが、庁舎を避難拠点とすることは考えていないのか。</p>	<p>市役所は災害時の避難施設として指定されてはいませんが、緊急時の避難場所となることは想定しており、それに備えた準備は行います。</p>
23	<p>荒川氾濫時、新庁舎が1階まで浸水した場合に、2階以上へアプローチするための人工地盤が必要なのでは。</p>	<p>1階が浸水した場合、庁舎へのアプローチが途絶えることは明らかであるため、その場合は、令和9年度に完成予定の中央防災センターに災害対策本部を設置し、職員の集合もそちらで行う想定です。水が引くまでの間、市役所が孤立することも考えられるため、そういった場合についても、計画を整えて対応していきたいと考えています。</p>
24	<p>浸水想定区域に庁舎を建設することへの不安がある。災害時に庁舎が使えたとしても、防災拠点としての機能を十分に果たせるのか。</p>	<p>現在新庁舎と並行して備蓄品倉庫兼用の災害対策本部のバックアップ施設として中央防災センターの整備を進めており、仮に庁舎が使えなくなった場合に利用できる場所とする計画です。</p>

25	<p>以前、水害時には防災拠点を鶴瀬小学校近くの中央防災センターで行うと説明があったと思うが、建設予定の中央防災センターについて、新庁舎と一体的な計画としたほうがよいのではないか。</p>	<p>中央防災センターは、令和6年度の予算で土地の購入・引き渡しを行い、令和7年度で設計を進めています。また、令和8年度から工事に入り、令和9年度に新庁舎に先行して整備が完了する予定です。中央防災センターも一体的に考えているところですが、基本的には様々な備蓄品、資機材の倉庫を設置するほか、庁舎に災害対策本部を設置できなかった場合の補完機能として考えています。また、職員が機動班として災害時に出勤を行うため、災害現場へ出勤後に必要となる、シャワー室なども併せて設置する予定です。現庁舎においても、災害が起きた際には有効に活用するものとしていることから、新庁舎事業より先行している状況です。</p>
26	<p>荒川や新河岸川の治水対策が進むことで、水害による想定水位が下がる可能性があるのではないか。新庁舎の1階部分は浸水対策とのことだが、想定水位を見直すことで、階層を減らし、建設費の減額が考えられるのではないか。</p>	<p>荒川の調節池の大規模な整備が進んでいます。荒川よりも想定水位は下がるものの、新河岸川の治水についても、近隣市や県と連携し取り組んでいきたいと考えています。新庁舎のフロアの使い方については、1階は浸水することを想定し、電子機器類などの機械が多い窓口機能は2階以上に配置するなどの浸水対策を行っています。新庁舎を現庁舎位置に建設する以上は、庁舎そのものも浸水対策をした建物である必要があると考えています。</p>
27	<p>免震構造は費用が高いものであるが、なぜ耐震・制震ではなく免震構造を選んだのか。</p>	<p>一般的に免震構造のほうが費用は高額だと言われていますが、今後の大地震が起きた場合の影響を考えた際、免震構造とすることが、もっとも建物・設備・機器の損傷可能性が低いと考えられるからです。庁舎の機能を考えたとき、大地震の影響を最小限に収めるため、免震構造を選択しました。</p>
28	<p>災害に強い庁舎とあるが、洪水などによる浸水を想定し、電源装置はどこに設置しているのか。</p>	<p>電源装置については全て屋上に設置することとしています。オイルタンクについても同様に浸水対策を施しています。</p>
29	<p>非常用発電機の燃料は階上にあるのか。地下にある場合、浸水すると燃料が使えないのではないか。</p>	<p>オイルタンクは地下に設置しますが、浸水の影響を受けない構造としています。また、屋上にも一部オイルタンクを設置します。</p>
30	<p>非常用発電機の電力を携帯基地局にもまわすことはできるのか。</p>	<p>民間事業者の携帯基地局の設置については現時点では計画していません。民間事業者からの声掛けがあれば、検討する形になると考えています。</p>

31	<p>食事スペースなど、職員のためのスペースについて教えてほしい。</p> <p>また、職員がフロアを移動せずとも休憩ができるよう配慮してあげてほしい。</p>	<p>2階、3階の執務スペースの中に自席以外にも用途に合わせたスペースを設けています。窓際のスペースや、パーティションを使用して空間を区切り、職員同士で個別に会議を行うための小さなブースなどを多く設けます。</p> <p>給湯室もバランスよく配置し、こうした場所を休憩時間や昼食時間にリフレッシュする場所としても利用できるように考えています。働き方改革の流れの中で、職員がリラックスできる時にはリラックスするという考えを織り込んで設計を行っています。</p>
32	<p>現庁舎では会議室不足があると聞いているが、新庁舎においては会議室不足が起こらないように設計してほしい。</p>	<p>新庁舎においては会議室をしっかりと設け、庁舎内で会議を開催できるよう、十分なスペースを確保します。小規模な打合せについては待合エリアの打合せスペースを活用するなど、庁舎内で打合せが完結できるように配慮しました。</p>
33	<p>分館の使い方について聞きたい。</p>	<p>物価高騰による事業費の上昇を抑えるため、分館を新庁舎供用開始後も活用することで、新庁舎の面積削減に取り組みました。</p> <p>現庁舎においては、作業スペースや通知文書の一時的な保管場所としても会議室が使われていることから、作業スペースなどを分館に別途用意することで、新庁舎内で確保する会議室のスペースを減らすこととしました。</p>
34	<p>庁舎に人を集めるための仕組みづくりと建物の検討は早い段階から検討すべきと考えるが、検討は行っているのか。</p>	<p>市民に愛される市役所にしなければならないと考えており、新庁舎の方針にも組み込んでいます。ふるさと祭りや、市役所周辺にある文化の杜公園、キラリ☆ふじみの駐車場や施設内など、富士見市の持っている強みを十分に活かしていく必要があると考えています。新庁舎1階においても活用できるスペースを作るので、ギャラリーや発表の場としても新庁舎を活用できるよう考えていきます。</p>

35	なぜ、地盤の低い現庁舎位置に新庁舎を建てることにしたのか。庁舎位置の移転は考えなかったのか。	庁舎建設の基本方針策定段階で、審議会を設置し、庁舎の建設位置に関する検討を行いました。市がまとめた土地として持っている場所は、現庁舎のほかには学校しかありませんが、現在も児童生徒が通っていることから用途変更は難しく、新たに土地を用意する場合も、坪単価が高額であるため、まとめた土地を高台に確保することは困難であるなど、様々な可能性を検討した上で整理されました。審議会からの答申を経て、現庁舎の位置が新庁舎の立地として、もっとも相応しいと決定しました。
36	健康増進センターと子ども未来応援センターの事業スペースを中央図書館2階に整備するとのことだが、利用者の利便性等を考慮すると、中央図書館ではなく新庁舎内に整備する方が望ましいと思うが。	庁舎敷地は市街化調整区域内であり、建替えに当たって整備内容が制限されることから、健康増進センターと子ども未来応援センターの検(健)診などのための事業スペースを新庁舎に整備することができないため、中央図書館2階に整備するものです。なお、健康増進センターと子ども未来応援センターの窓口機能は、新庁舎に整備することで、市民サービスの向上を図っていきます。
37	立地に関し、コスト面を含め、適した土地が無いことから現在の敷地であることは理解したが、西みずほ台保育園の前の道路を川越街道方面に向かうと、畑が広がっている。農地の市街化調整区域だと思うので、低コストで取得でき、比較的、駅に近く高齢者にやさしく、洪水の影響がない立地なのではないか。	新庁舎建設に当たっては、現庁舎敷地において“既存建築物の建替え”の規定により、新庁舎の建設を予定していますが、市街化調整区域内の新たな土地に市役所を建設することはできない状況です。
38	時間外に庁舎の内部には入れないような工夫がされると思うが、広いので心配だ。	閉庁時は、2階以上には入れないようにする計画としています。新庁舎においてはセキュリティ強化を図ることも狙いの一つとして設計を行っています。

【その他】

No.	質問等	市の回答
1	<p>高齢化が進むのに伴い、市内の交通体制など総合的なことも庁舎整備と併せて検討する必要があるのではないかと。</p> <p>また、人口減少に伴い、公共施設の統合をしていかなければコストがかかってしまうことは理解するものの、結果的にアクセスが悪くなるのが気になっている。循環バスをどこまで充実させられるのか。</p> <p>加えて、出先機関との連携というのはどのように配慮されているのか。</p>	<p>移動手段については、循環バスやデマンドタクシーなどの事業を現在進めています。富士見市地域公共交通会議は令和8年3月から富士見市地域公共交通協議会に移行し、公共交通に関する計画作成について議論を始める予定です。</p> <p>特にデマンドタクシーは利用者の8割以上が高齢者であるため、現在、地域まちづくり協議会と連携した高齢者向けの移動支援サービスを、水谷東地域からスタートしています。利用数も増加傾向にあるため、今後も高齢者同士が支えあう仕組みを拡充していきたいと考えています。また、デイサービスなどを行っている市内の福祉事業者に日中の移動支援への協力を得られないか議論を始めるなど移動手段の拡充については検討を進めています。</p> <p>加えて、DXの推進によって、行かなくてもよい市役所を目指し、電子申請可能な手続数の拡充、コンビニ交付の拡充を行っていきたいと考えています。</p>
2	<p>水谷東地域における移動支援事業について、送迎対象者を確認し、送迎対象者の範囲をもっと広げることも併せて検討してほしい。</p>	<p>現在のデマンドタクシー利用者の8割以上は高齢者であり、この利用者が高齢者移動支援へ移行できないかということが大きな課題だと考えています。</p> <p>また、小さな子どもを持つ方、妊娠中の方、障がいのある方ももちろん対象とするものと考えています。</p>

3	<p>みずほ台駅から市役所まで車で向かう際、大型商業施設へ続く渋滞が健康増進センターの前まで長く伸びており、国道254号バイパスに出たいときに、とても不便である。迂回できるような道路をつくれませんか。</p>	<p>みずほ台駅東口のロータリーから北東へ向かう道路は、区画整理事業完了地点で止まっていますが、国道254号バイパスに繋がるよう計画されている都市計画道路です。現在、この道路を氷川神社付近まで整備することを計画しています。</p> <p>進捗状況は現在、7割程度であり、これらが完成すると、水谷・みずほ台地区の市民も道路を通して市役所や図書館に向かいやすくなります。現在は2期目の工事に向けて、土地の買収を進めているところであり、これらもしっかりと進めていかなければならないと考えています。</p>
4	<p>今日の説明会は非常に多くの内容が含まれていたのについていけないところがあった。この説明会の位置づけについて確認したい。</p>	<p>富士見市が保有している様々な公共施設について、現状と今後の整備方針を富士見市全体で考えたいということをお知らせするという趣旨です。公共施設マネジメントの中でも最も大きなものが、市役所の建替えなので、新庁舎をより詳しく説明しました。</p>
5	<p>今回の説明会について、4か所の実施ということだったが、これだけ大事な計画の説明会が4か所でよいのか。今後、パブリックコメントもあるようだが、書面で送り、それに回答して終わりではなく、今回の内容に対する市民の意見や要望、アイデアを集約するような話し合いの場をぜひ設けてほしい。</p>	<p>市としては説明にしっかり努めてきたと認識しています。開かれた議論はこれからも持ちうるものであるため、心配の向きをしっかり解消できるよう努めていきます。</p> <p>また議会の中でも、年4回の定例議会や一般質問において、庁舎に関する問題や、公共施設マネジメントについて議論を行っており、今回の説明会においても、貴重な意見やエールをもらったものと考えています。</p> <p>今後も進捗報告を行いながら、要望や質問を受け、新庁舎に市民の皆さんの気持ちに乗せてほしいと思っています。親しまれ、愛される庁舎となれるよう、今後も検討を進めていきます。</p>
6	<p>様々なところで下水道管や水道管の老朽化で陥没事故が起きている。市の事業であれば大きな予算がかかるので、新庁舎だけでなく全体の事業として話を聞きたい。</p>	<p>上下水道については企業会計であり、現在は数年、黒字となっています。上水道については今後の老朽化に備えて積立を行い、財源の確保を行っていますが、今後のインフラ維持は大きな課題であると考えています。全体的なコストを下げるため、民間の力を借りることについても検討を進めたいと考えています。</p>

7	公用車にハイブリッド車を増やすことで、災害時の発電機として活用できるのでは。	EV車は現在1台のみ所有しています。現在、市が所有している公用車の耐用年数が到来した際、EV車やハイブリッド車の配備に関しては、提案をしっかりと受け止め検討を行っていきます。
---	--	---